

感染状況・医療提供体制の分析(4月18日公表)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細
➡



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③、④は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (4月11日公表) 4月1日～4月7日	現在の数値 (4月18日公表) 4月8日～4月14日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	407人	309人	➡	<p>感染状況コメント</p> <p>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</p> <p>定点当たり患者報告数は3.68人と減少。インフルエンザ患者数も減少(定点当1.15人)。但し、RSウイルス感染症は増加傾向で、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年に比べ多い。</p> <p>全国的にも岡山でも新型コロナ感染は減少傾向。ゴールデンウィークで人の移動が多い時期は続くので、体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。</p> <p>医療機関への入院は減少も、重症者は発生しており、注意が必要。薬代などの公費負担は4月から撤廃され、様々な変化が医療現場ではある。ハイリスク患者の早期診断・治療は必要。</p>
	定点当たり数	4.85人	3.68人	➡		
	報告数に占める60歳以上の割合	32.7%	27.2%	➡		
	岡山市保健所	2.64人	2.14人	➡		
	倉敷市保健所	7.44人	5.50人	➡		
	備前保健所	3.13人	1.87人	➡		
	備中保健所	5.92人	4.33人	➡		
	備北保健所	8.83人	5.83人	➡		
	真庭保健所	7.67人	6.00人	➡		
	美作保健所	3.60人	4.10人	➡		

*医療提供体制については、病床数・重症者数の報告がなくなり、割愛しました。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。